

JACET関西支部 2025年度 第2回支部講演会

The JACET Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting of the
2025 Academic Year

Title: 私はどのように英語教材を作ってきたか

Corpus and CEFR approaches toward English
teaching materials development

Lecturer: 投野 由紀夫 先生

(東京外国語大学大学院教授)

Tono Yukio PhD (Professor, Graduate School of Global
Studies, Tokyo University of Foreign Studies (TUFS))

Date: Saturday, **October 18, 2025, 15:20–17:00**

Venue: online (Zoom)

Fee: JACET会員は無料、非会員は参加費 500 円

JACET members (free of charge); non-members (¥ 500)

※事前申込要。※Preregistration required.

申し込み：昨年度からPeatixを導入しています。以下のリンクにアクセス
頂き、「チケットを申し込む」をクリック、JACET会員は無料をお選びく
ださい。非会員の方は有料（500円）をお選び頂き、所定の方法でお支払い
ください。

申し込みサイト: <https://peatix.com/event/4553407/view>

* 当日のzoom URLは、Peatixより後日送られます案内をご覧ください。

▶ 発表言語: 日本語, 質疑応答: 日本語, 英語

▶ This lecture will be given in Japanese. The Q&A session will be bilingual.

For more information, please visit the JACET Kansai Chapter Website
<http://www.jacet-kansai.org>



講演概要

私は1991年に最初の大学用テキストを出版してから30年以上英語教材を大量に作ってきました。その教材デザインの中核は、コーパス言語学的アプローチで追求した「英語力のコア」の特定と「何をどこまで」という範囲の特定でした。2000年以後はそこにCEFRの視点が加わり、CEFRの枠組の何をどこまで利用するか、そのフレームに英語の言語材料をどう入れるか、といった言語材料精選とレベル記述の研究が中心になりました。それらを支えていたのは語彙習得から推移した一連の学習者コーパス研究の成果でした。この講演では自分の30年の経験を振り返りつつ、英語教材開発の大きな枠組の必要性和それを支える研究の重要性をご一緒に考えたいと思います。



©HIROKI YAMAGUCHI

講師略歴

東京外国語大学大学院教授。専門はコーパス言語学・L2語彙習得・英語辞書学・CEFR利用。ランカスター大学で Ph.D.（言語学）。コーパスを使った英語学習教材としては、辞書（『エースクラウン英和辞典』、『プログレッシブ英和中辞典』）、単語集（『コーパス』シリーズ、『チャンクで英単語』シリーズ）など40点以上を出版。NHK『100語でスタート! 英会話』（2003-2006年度）、NHKラジオ『基礎英語3』（2016-2020年度）、NHKテレビ『英会話フィーリングリッシュ』（2023-24年度）などの語学番組で、コーパスくんなどのキャラクターでお茶の間にも人気を博した。CEFRの英語教育への応用研究としてCEFR-J プロジェクトも中心的に進め、コーパス利用とCEFRを融合した英語学習フレームを構築中。